

福武教育振興財団は、海外教育事情調査が第十回を迎えたのを記念して、特別企画海外教育・文化事情調査を実施した。財団の役員及び過去の海外調査の参加者から希望者を募り、二十四名で調査団を編成した。谷口理事長を団長とする一行は七月二三日岡山

シルクロード紀行

を立ち、上海、西安を経て二四日敦煌に着いた。井上靖の小説を読み、映画「敦煌」の記憶もあり、更に五月のNHK衛星放送で莫高窟の中心まで見せてもらい、いやが上にも興味と関心をかき立てての敦煌入りであった。予想はしていたもの七月下旬は一年で最も暑い時期で早朝から30度を越える。西のかた陽関を出づれば故人無からん、と王维が詠んだ陽関まで75kmを冷房の利きの悪いバスで行く。陽関を見て帰りに敦煌古城へ寄った時気温37度。だが湿度45%で日陰に居ればしのげる。映画の



莫高窟の入口で記念撮影

セットがそのまま残され、今は観光の地となっている。時差の関係でまだ日がさす午後七時ごろ鳴沙山へ向かう。基地で一人一頭のらくだに乗り、砂山のふもとまで二十分の旅はクッションは悪いが歩くよりは楽だ。翌二五日待望の莫高窟へ。四九二窟のうち十一窟を見た。うち二窟は特別料金での見学だ。NHK衛星放送でガイドをした楊麗英さんが案内してくれた。仏像、壁画、どれをとってもそれぞれ最高、としか言いようがない。世界遺産も当然のこととなすける。

市内の博物館で先刻見た文化遺産を復習した後、夜行列

車に乗るため柳園に向かった。38度二時間のバス移動は皆こたえたようだ。

軟臥の客室は四人同室でまず快適と言える。早朝吐魯番に着き、ベゼクリク千仏洞、孫吾空が活躍した火焰山を見学、アスターナ古墳では安らかな夫婦のミイラに合掌。次いで千五百年前の高昌城跡を



40°の炎天下で足もにぶりがち

訪れ、玄奘三蔵が説教したと言う講堂跡でしばし回想にふかったものである。

午後は人々の生命の基であるカレーズ(地下水)を見て前二世紀に建てられた交河古城に向かったがこれには参った。気温40度の中、だらだら坂を約1km登ると日陰も何もない一面の廃墟だ。同じ道を



自治区教育委員会で情報交換

たどってやっと戻った時はミイラになる寸前かと思われた。

二七日高速道を烏魯木齊へ。新疆維吾爾自治区の区都で人口百二十万の大都市だ。夜、岡山から同行した現地人の家族の歓待を受けた。翌日、自治区教育委員会、新疆大学、新疆芸術学院を相次いで訪れ現地の教育事情を勉強した。

その後博物館で、幻の都楼蘭の美人ミイラと対面した。

二九日烏魯木齊から上海へ飛んで一泊、翌日岡山へ無事帰着した一行は、夢に見たシルクロードの旅を終え、これを夢に終わらせてはならないと、目下紀行本の執筆に意欲を燃やしている。(須賀)

食物雑記

九月二十四日は中秋の名月である。中国ではこの時期には月餅が作られ、露店でもデザートでも必ず目につく。製造元は多いが先日食べたものは中国人向きの味だった。広島のもみじ饅頭の製造機械が北京に渡り、現地で売り出されるそうだが、研究を重ねて中国風の味にするという。烏魯木齊のあひるの水かきは、見た目にはわからないが全体にワサビがたっぷり利いていて口に入れると鼻にツーンときた。

同じ烏魯木齊でうなぎのぶつ切りを煮たものが出た。当然骨付きである。鄭州のサンリの空揚げは、形はサンリだが味はでびらの空揚げの尻尾と思えばよい。珍しい食物に出会うのが旅の楽しみでもある。(須賀)

「題字は谷口澄夫理事長」梅原都先生の講演の録音テープは、12分テープと160円切手を事務局まで届けてくださればダビングいたします。

不 易

第13回 福武哲彦教育賞 贈呈式 教育研究助成・図書助成



あいさつする谷口澄夫理事長

優れた教育的業績を上げた個人や団体を顕彰する「福武哲彦教育賞」の本年度贈呈式は今年七月十五日、岡山プラザホテルで行われ、学校間連携委員会(安東達郎委員長)、岡山県臨床心理士会(清板芳子会長)、就実中学校・高等学校(武内眞吾校長)の三団体に、谷口理事長から賞状と副賞(各五十万円)の目録、記念メダルが渡された。これで同教育賞の受賞者は昭和六

十二年の創設以来十六人、二十三団体となった。また、保育所、幼稚園、小、中、高、特殊教育諸学校及び専門学校等において、教育の内容、方法、及び教材開発等に関する注目すべき実践的研究に取り組んでいる個人やグループに対する「教育研究助成」四十件、学校の図書館利用の進展と読書活動の振興を目的とする「図書助成」三十二件に、谷口理事長から賞状と助成金(上限教育研究助成二十万円、図書助成十万円)の目録がそれぞれ代表者に渡された。これで教育研究助成は昭和六十二年の創設以来二百九十九件となり、図書助成は二百八件となった。今年の変更点として、過去二年実施した「図書館助成」

第4号
平成11年9月30日
.....
(財)福武教育振興財団
(財)福武文化振興財団
〒700-0807
岡山市南方3-7-17
TEL.086-221-5254
FAX.086-232-3190
印刷(株) シンプルス

は「教育研究助成」に含めることとし、図書館の図書、資料の充実を目的として従来実施していた「図書助成」を、要望に応じて復活させた。今後先生方の声を尊重しながら事業を展開していきたい。(岡田)



受賞者全員、来賓と一緒に記念撮影

ONNボランティアの会は、「地域の日本語教育に寄与すること」を目的に設立、今年四年目を迎えました。会員は、約五十名。主な活動として、火曜日の夜と木曜日の午前中に、岡山国際交流センターで、日本語講座を開催しています。

生方は、一回三、四時間も準備に時間をかけて、講座に臨まれるそうです。少しでも分かりやすく、楽しく、そして早く上達して欲しいとの情熱は生徒さんたちにも通じ、皆さん生き生きと参加されています。講座が終わると、反省や進行状況を話し合い、生徒さん一人一人にきめ細やかな対応を心がけておられます。また、月に一度、火・木両講座合同の連絡会議で、運営上の問題についての討議などをされているそうです。私たちの日本語の広がりをお願いして、ONNボランティアの会のご活躍をお祈り申し上げます。(佐々木)



授業風景



講演する梅原教授

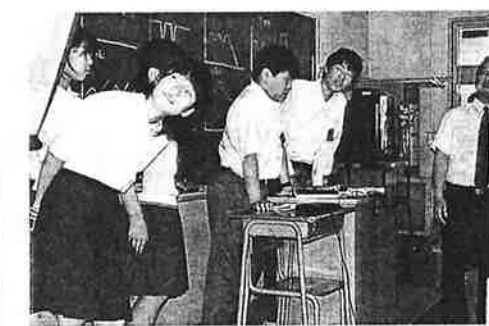
我が国は中国との千年以上の付き合いの中で多くの事を学びその文化を受け入れてきた。しかし中国の現実是我々の持つイメージとはかなり違う面が多い。例えばウーロン茶はほとんどの中国人は飲まないし、中国で本場の冷し中華を食べたいと思ってもそんなものはない。我が国では官吏と一語として使うが、中国では「官」と「吏」は全く違う、など。

日本の三十倍に近い国土と変わるのである。儒家はやがて儒教のバイブルに相当する経書は、我々には四書五経という方がわかりやすいが、日本人が受け入れたのは最もやさしい四書で、難解な五経は敬遠された。しかし五経こそが儒の中心なのである。

五経(易経、書経、詩経、

禮、春秋)のうち、禮はずべての庶民にもかかわりを持ち、今でも人々の中に生きていく。禮は礼儀ではなくて社会生活の規範であり、個人生活の規範である。その根本にあるのが家である。自分を中心として前後四代ずつ、それぞれの兄弟姉妹は同じ家に属し、一朝事あれば全員が一致団結する。

日本は中国の文化の根幹になっっているものは無視し、日本に役立つものだけをだけ受け入れてきた。それだけに中国文化の本質はかなり違うということに念頭に置いて、表面的な言葉や事象をうのみみせず、一歩下がって見たり考えたりすることが大切ではないだろうか。(須賀)



結果はOHPに写し出される

まず、高性能電卓とは、数式処理やグラフ電卓・作図ツール等の機能の付いた優れ物である。この電卓を数学の授業に取り入れている。ただし、平野先生と大月先生ともに強調されたことは、「高性能電卓を問題の答えを出すことにあてるのでは意味がない。実験をしてみたり、授業での理解を深める上で有効な活用法

がんばってます

岡山大学教育学部
附属中学校
平野圭一教諭

夏休みも残りわずかとなった日、附属中学校の平野圭一先生を訪ねた。同じ数学科の大月一泰先生も同席してくださった。

平野先生は教育研究助成を平成十年度・十一年度と二年連続で受けられている。研究テーマは、「高性能電卓を数学科に取り入れるために」であり、内容を簡単に説明していただいた。

まず、高性能電卓とは、数式処理やグラフ電卓・作図ツール等の機能の付いた優れ物である。この電卓を数学の授業に取り入れている。ただし、平野先生と大月先生ともに強調されたことは、「高性能電卓を問題の答えを出すことにあてるのでは意味がない。実験をしてみたり、授業での理解を深める上で有効な活用法



講演に聞き入る聴衆

を常に心がけなくてはいけない」とのお話であった。

高性能電卓は、距離測定装置をつなげると、人や物が動く様子をグラフ化する機能も備えている。距離測定装置の前に立ち、私も歩かせていただいた。画面をのぞくと、動いた様子は台形となって現れていた。実際の授業では、どういった形を描きたいのかを班で話し合い、皆で協力して希望の形になるように歩いたり、止まったり、しゃがんだり工夫をしたそうだ(写真参照)。

効果的に高性能電卓を使う数学の授業は、随分魅力的なものに感じられた。(岡田)

平成11年度 文化関係助成決まる

平成11年度の文化関係助成は、伝統文化部門と現代文化部門の二部門で、それぞれ文化活動と調査研究に分けて、7月1日から公募を開始し、8月25日の締め切りまでに、伝統文化部門では文化活動19件、調査研究12件、現代文化部門では文化活動74件、調査研究11件、合計で116件の応募があった。平成9年度の助成事業開始時の67件、平成10年度の93件から更に増加した。

9月1日から、伝統文化部門はノートルダム清心女子大学客員教授小寺聰氏を座長に、現代文化部門は美作女子大学長目瀬守男氏を座長に、それぞれこの方面の専門家、学識経験者ら9名ずつ、合計18名の審査委員による一次審査を経て、9月14日二次審査が行われた。

審査に当たっては、伝統文化又は現代文化の振興と、地域の活性化につながることをねらいとした助成の目的に沿っているかどうか、文化活動や調査研究の効果が認められるかどうか、これまでの実績と将来性は確かかどうか、という審査基準に加えて、連続助成は原則2年とする、単なる趣味や同好のグループ活動などは除外するなどの細かい留意点を踏まえて厳正、公平、慎重な審査が行われた結果、伝統文化部門では文化活動14件、調査研究7件、現代文化部門では文化活動28件、調査研究1件、合計50件について、1件につき10万円から最高30万円まで、総額810万円の助成候補を選考した。

これらの候補について、9月21日までに財団の理事全員の同意を得て正式に本年度の助成先が決定した。

決定した団体、個人は以下のとおりである。(申請順)

伝統文化部門(文化活動)

- | | |
|--------------------|-----|
| 1 横仙歌舞伎保存会 | 奈義町 |
| 2 金光拓本の会 | 金光町 |
| 3 雪舟を語る会 | 芳井町 |
| 4 備前岡山獅子舞太鼓唄保存会 | 岡山市 |
| 5 弘西備前太鼓唄普及会 | 岡山市 |
| 6 芳柳会 | 岡山市 |
| 7 備中神楽倉敷社 | 倉敷市 |
| 8 八幡祭り保存会 | 笠岡市 |
| 9 櫻屋幸吉保存会 | 玉野市 |
| 10 打穴中「鬼山ふる里」いきいき会 | 中央町 |
| 11 吉備楽十六日会 | 岡山市 |

伝統文化部門(調査研究)

- | | |
|-----------------------|-----|
| 12 和意谷史跡保存会 | 吉永町 |
| 13 津島八朔踊り保存会 | 岡山市 |
| 14 米来学区心をつなぐ地域活動推進委員会 | 久世町 |
| 1 成羽古文書研究会 | 成羽町 |
| 2 長船盛家鍛刀所 | 長船町 |
| 3 川上町拓友会 | 川上町 |
| 4 古代吉備のガラスの科学分析 | 倉敷市 |
| 5 池田民子:「亀甲岩」の研究、普及 | 中央町 |
| 6 守田勝彦:「吉田家文書」の解読、保存 | 岡山市 |
| 7 西大寺愛郷会 | 岡山市 |

現代文化部門(文化活動)

- | | |
|---------------------------|-----|
| 1 吉備高原国際親善交流会 | 賀陽町 |
| 2 岡山邦楽合奏団 | 岡山市 |
| 3 児島少年少女合唱団 | 倉敷市 |
| 4 朗読塾 | 岡山市 |
| 5 新見演劇フェスティバルの会 | 新見市 |
| 6 佐良山未来ビジョン研究会 | 津山市 |
| 7 ボランティア人形劇サークル 風の子 | 鴨方町 |
| 8 きんちゃい座 | 津山市 |
| 9 山陽町民音楽祭実行委員会 | 山陽町 |
| 10 高梁市童謡のまちづくり推進委員会 | 高梁市 |
| 11 朗読奉仕ふきの会 | 岡山市 |
| 12 伊与部山史跡開発推進委員会 | 総社市 |
| 13 観光ボランティアガイドブック作成グループ | 岡山市 |
| 14 岡山ポリフォニーアンサンブル | 岡山市 |
| 15 岡山南子ども劇場 | 岡山市 |
| 16 岡山市青年協議会 | 岡山市 |
| 17 ボランティアグループ ぼんぼこりん | 勝山町 |
| 18 劇団ひびき | 岡山市 |
| 19 真庭美しい森林づくりの会 | 勝山町 |
| 20 倉敷アカデミーアンサンブル | 倉敷市 |
| 21 桃太郎少年合唱団 | 岡山市 |
| 22 山陽こども劇場 | 山陽町 |
| 23 ダイスキミーツ99実行委員会 | 岡山市 |
| 24 国際生活体験岡山地区委員会 | 岡山市 |
| 25 人形劇サークル まつぼっくり | 美星町 |
| 26 CARAT プロジェクトカンパニー | 岡山市 |
| 27 あるばるば協会 地球と見合った生活文化クラブ | 岡山市 |
| 28 ドラネコ座 | 岡山市 |

現代文化部門(調査研究)

- | | |
|----------|-----|
| 1 作州野鳥の会 | 津山市 |
|----------|-----|